

JPI催しのご案内

2017
7

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場

公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時

平成29年7月20日(木) [第1部]10:30~12:00 [第2部]13:15~15:00 [第3部]15:15~17:00

参加費

JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第60回包装情報ステーション研究会10:30~12:00

【テーマ】食品ロスの削減と容器包装の高機能化

我が国では、食料の大半を輸入に依存する一方で、まだ食べられるのに捨てられている、いわゆる「食品ロス」が毎年大量に発生しており、平成26年度における食品ロスの推計値は、621万トンとなっています。
食品ロスを削減させるためには、食品製造工程の改善による賞味期限の延長に加え、新たな容器包装資材の開発や、パッケージの構造の工夫、又はこれら複数の取組を組み合わせるなどといった容器包装技術の活用が重要な役割を果たしています。
本講演では、食品ロスの現状や、その削減に向けた食品業界・地方公共団体等の様々な取組を解説するとともに、食品ロスの削減に役立つ容器包装の高機能化事例を紹介します。

【講師】農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長

河合亮子氏

第2部 第216回輸送包装研究会13:15~15:00

【テーマ】輸送振動試験における振動の基本知識と各種の輸送規格(改正ISO13355含む)の解説

最初に、環境試験の観点で他の分野、自動車、航空宇宙の機器ではどのような過酷な試験を行っているか、またその重要性を紹介します。そして、今回の主題の包装貨物の輸送試験について解説します。
製品は包装貨物として工場出荷後、最初に受けるのが輸送時のストレスです。輸送中の環境は温度、湿度など気象的環境にも影響されますが、輸送中常に受けているのが機械的な振動(衝撃)です。最近は輸送振動のシミュレーションの観点でランダム波での試験を行うのが主流をなしていることは周知のとおりです。
試験実施の際、規格、試験要求書などの理解、試験実施の際の諸条件、又解析を行う場合など、基本的な振動の理論と知識が必要となります。改めて振動の知識を理解して頂く観点で解説します。また各種の輸送試験規格の特徴と最近改正された国際規格の改正点も含め解説します。

1 振動原因の重大事故
・過去に振動が原因で発生した航空宇宙、発電所分野での重大事故。
・毎年公表される国土交通省リコール報告とその原因究明。

2 輸送振動の基礎
・サイン波とランダム波の基本ー共振とその定義、ランダム振動のガウスとクルトシス性、
・サイン、ランダム波の製品に対するストレスの違いー確率密度関数の考え方。
・輸送試験における加速試験の基本ーマイナー則。

3 輸送試験のシナリオ作成
・自社で輸送振動規格を準備する場合の基本的なシナリオの作成手順。
・エンベロープのかけ方。

4 各種の輸送試験規格の解説。
・各種の輸送振動規格の特徴、2016/08改正されたISO13355 (JIS Z 0232) の改正点の解説。

【講師】エミック株式会社 技術顧問

井下芳雄氏

【コーディネーター】東京大学 大学院 農学生命科学研究科 農学共同研究員 包装管理士

打田宏氏

三菱電機(株) ロジスティクス部 専任 包装専士

武田正臣氏

第3部 第217回輸送包装研究会15:15~17:00

【テーマ】農産物包装に関する全農の取組みについて

J A 全農では、農業者が生産した農畜産物を安心して消費者まで輸送できる容器を提供しております。特に、青果物用段ボール箱については、青果物が水分を多く含むという特性を配慮し、J A 全農では厳しい品質管理およびユーザー目線での適正包装化提案を実施しております。今回、そのための試験機関であるJ A 全農営農・技術センター生産資材研究室もご紹介いたします。
また、国産農産物輸出や通いコンテナ化など最近の農産物包装トレンドを踏まえ、あらゆる取組を実施しておりますので、その取組事例も併せてご紹介いたします。

【講師】全国農業協同組合連合会 生産資材部 包装資材課 課長

鈴木富隆氏

【コーディネーター】(株)トーモク 開発営業部 部長代理 包装管理士

矢島康夫氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

7月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部

第296回月例見学会

【見学先】㈱精工 つくば工場
【日 時】平成29年7月19日(水)13:30～16:30 (予定)
【集場所】つくばエクスプレス つくば駅
【集合時間】13時00分(予定)
【定 員】40名
【参加費】バス代金として2,000円

- ★お申し込みはファクシミリによる先着順受付とさせていただきます。
- ★お申し込み方法は紙面に第296回見学会参加希望とご記入の上、会社名、所在地(〒)、参加者名、所属役職、電話番号、FAX番号をご記入下さい(記入漏れがある場合、無効となります)のでご注意ください。
- ★参加証の発送をもって、申し込み受付に替えさせていただきます。参加証は開催日一週間前に発行いたします。
- ★同業他社の方のお申し込みの場合、受け入れ出来ない場合があります。

【見学先の概要】

株精工は、フィルムへのグラビア印刷、デジタル印刷加工並びにスリット、断裁、製袋等の後加工をおこなうフィルム二次加工工場です。見学会では、製造エリアに入場し間近で見学できるだけでなく、工場2階に設けられた、スーパーマーケットや青果物直売所、コンビニエンスストア等の仕器に製品サンプルを陳列した大型展示室や青果物鮮度保持研究室も視察予定です。

見学会のお申し込み並びにお願い（毎回規程が変わりますので必ずご確認ください）

第55回全日本包装技術研究大会【名古屋大会】

～発表者募集のご案内～

(公社)日本包装技術協会では毎年1回、全国の会員を対象に包装技術の研鑽と交流を目的とした全日本包装技術研究大会を開催し関係各位より高い評価を頂いております。本大会は本年で55回目を迎え、会場を名古屋国際会議場に移し、盛大に開催する予定です。貴社におかれましてもこの機会を有効にご利用頂きたく、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 発表者募集要領 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

【開催日】	平成29年11月16日(木)～17日(金)
【発表内容】	1件あたり25分間(20分発表、5分質疑)
【募集件数】	68件 *定員になり次第締め切ります
【申込期間】	平成29年8月25日(金)まで
【発表料金】	無料 *記念品を贈呈します
【優秀選定】	発表者の中から、特に充実した発表をされた方を 対象に優秀発表者を選定します

[illegible]

包装又は包装資材に関する研究／新技術・新システム・新素材の紹介／廃棄・リサイクルの
容易性／包装の現場における改善・合理化の事例／省力・省資源・コスト低減の事例など

[illegible]

①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会
⑤医薬品医療機器包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会
⑧電気機器包装部会 ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

暮らしの包装商品展2017 KITTE（東京駅）にて開催決定！

暮らしの包装商品展は、普段、暮らしにおいて何気なく使用している包装の役割や重要性を、一般消費者の方に、楽しくわかりやすくお伝えし、理解を深めていただくことを目的とし、隔年で開催しております。本年はKITTE（東京駅）にて、下記概要で開催を予定しており、ただ今出展社を募集しております。ご興味をお持ちの方は、事務局までご一報ください。

名 称	暮らしの包装商品展2017
コンセプト	知ってなっとく！包装容器の新事実！ ～ 身近な製品からみる包装の知られざる機能やひみつを紹介します ～
会 期	2017年 10月19日（木）・20日（金）の2日間
会 場	KITTE 1Fアトリウム・地下1階パフォーマンスゾーン ※東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 暮らしの包装商品展2017担当 TEL:03-3543-1189 e-mail:info@jpi-expo.jp

第23回化粧品包装セミナー

—化粧品パッケージに求められるデザイン・設計—

【開催要領】

◆日 時：平成29年7月21日（金）12:30～16:30
◆主 催：公益社団法人日本包装技術協会
◆参加費：会員17,820円・会員三名同時申し込み14,580円
◆会 場：TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原 ホール2B
◆定 員：100名
一般19,440円（消費税・テキスト代含む）

【プログラム】

時 間	講 演 内 容	講 師
12:30～13:15	化粧品における加飾用エフェクト顔料について	メルクパフォーマンスマテリアルズ(株)顔料・機能性材料事業本部 技術サービスグループ 東 和久 氏
13:25～14:10	20～30代女性の消費・美容トレンドについて	(株)博報堂 買物研究所兼キャリジヨ研 主任研究員 松井 博代 氏
14:20～15:05	ブランド価値を創造するポーラのデザイン	(株)ポーラ デザイン研究室 アートディレクター 鈴木 智晴 氏
15:15～16:30	講師と企画委員のディスカッション	講 師 企画委員

専用パンフレットにてお申し込み下さい。当会HP (<http://www.jpi.or.jp>) からもご確認頂けます。

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報（『(公)社』日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させて頂きました。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆ お問い合わせ及び各種催しの申し込み先 ◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>